

「環境省地域 ESD 拠点」登録式典及び看板掲揚式を行いました。

令和元年7月3日(水)、水素エネルギー国際研究センター「水素社会ショールーム」において、「環境省地域 ESD 拠点」登録式典及び看板掲揚式を開催致しました。

本式典は、水素エネルギー国際研究センターが「地域 ESD 活動推進拠点」(地域 ESD 拠点)に登録されたことを受け開催されたもので、原田義昭環境大臣をはじめ環境省の関係者の皆様にもご出席頂きました。

本学は、脱炭素社会実現へのキーテクノロジーである「水素エネルギー」の研究教育に集中的に取り組んでいます。水素エネルギーは、環境省が所管している「パリ協定」対応や「国連 SDGs」実現にも貢献できるエネルギー技術です。

また世界的な気候変動によって、自然災害が多発しているなか、福岡県では、朝倉市や東峰村が豪雨災害に見舞われ甚大な被害が発生しました。このような自然災害を防止するには、根本原因である「地球温暖化」を食い止めなければなりません。そこで、環境省所管の「持続可能な開発のための教育/Education for Sustainable Development」の拠点、「地域 ESD 拠点」に申請させて頂き、登録が認められました。

式典後、水素社会ショールームの入口において、原田環境大臣と久保総長との協同により「環境省」及び「地域 ESD 活動推進センター」の看板掲揚が行われました。

本式典には、井上理事・副学長、山縣理事、マスコミ関係者、水素エネルギー国際研究センター関係者等、学内外の約 50 名が参加し、盛大に行われました。

本センターは、脱炭素社会実現に向けたキーテクノロジーである水素エネルギーに関する世界的な研究教育拠点として、水素の製造から貯蔵、利用、安全までのエネルギー体系の研究教育を進めることを目的として活動しており、最先端研究に従事するのみならず、水素ステーションを伊都キャンパス内で運営し「水素社会ショールーム」を設けて、一般市民を含む年間 6,000 人程度の見学・視察を受け入れてきました。今回の登録を受け、社会受容性向上や国連 SDGs のさらなる普及啓発に努めてまいります。

【詳細】九州大学ホームページ <http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1505>



久保総長（左）と原田環境大臣（右）



九州大学および環境省関係者一同